

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品）	
信託期間	無期限（設定日：2023年6月8日）	
運用方針	マザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETFまたはETC（上場投資信託証券）に投資し、円換算ベースの金現物価格の値動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	SBI・iシェアーズ・ゴールド・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETFまたはETC（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	当ファンド（ベビーファンド）	投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 マザーファンド受益証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
	マザーファンド	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分配方針	年1回（毎年6月10日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託者の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

運用報告書（全体版）

第2期

（決算日：2025年6月10日）

SBI・iシェアーズ・ ゴールドファンド（為替ヘッジなし） （愛称：サクっと純金（為替ヘッジなし））

追加型投信／内外／その他資産（商品）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「SBI・iシェアーズ・ゴールドファンド（為替ヘッジなし）（愛称：サクっと純金（為替ヘッジなし））」は、2025年6月10日に第2期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00~17:00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiam.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
(設定日) 2023年6月8日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 82
1期(2024年6月10日)	13,137	0	31.4	99.5	11,669
2期(2025年6月10日)	17,382	0	32.3	99.8	68,384

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注5) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETFまたはETC（上場投資信託証券）に投資し、円換算ベースの金現物価格の値動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
		騰落率	
(期首) 2024年6月10日	円 13,137	% —	% 99.5
6月末	13,581	3.4	99.0
7月末	13,192	0.4	99.0
8月末	13,225	0.7	99.2
9月末	13,714	4.4	99.5
10月末	15,477	17.8	99.7
11月末	14,405	9.7	98.8
12月末	14,969	13.9	100.1
2025年1月末	15,587	18.6	99.3
2月末	15,536	18.3	99.4
3月末	16,646	26.7	99.2
4月末	17,033	29.7	98.6
5月末	17,213	31.0	98.9
(期末) 2025年6月10日	17,382	32.3	99.8

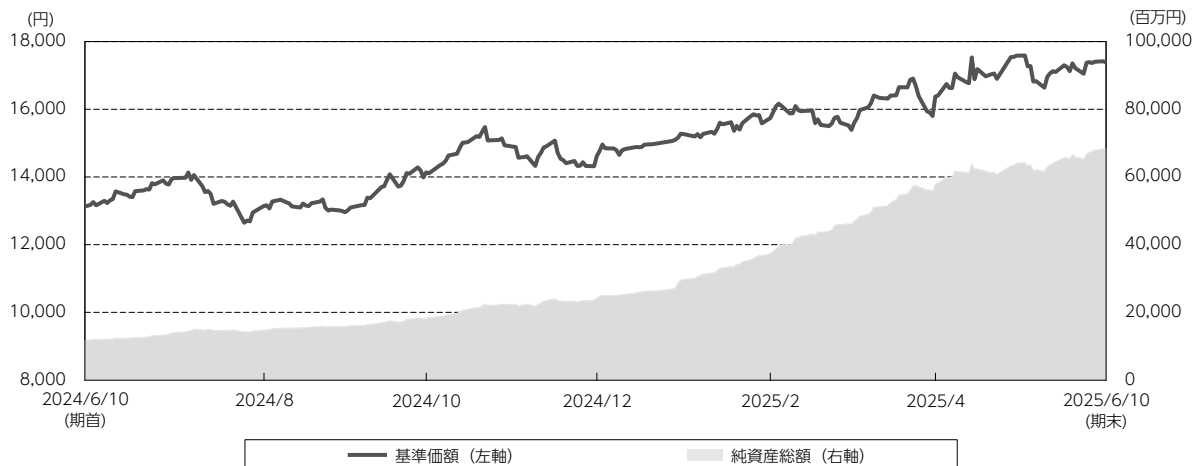
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETFまたはETC（上場投資信託証券）に投資し、円換算ベースの金現物価格の値動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2024年6月11日から2025年6月10日まで）

○基準価額等の推移



期首：13,137円

期末：17,382円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：32.3%

（注1）当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETFまたはETC（上場投資信託証券）に投資し、円換算ベースの金現物価格の値動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米景気減速への懸念
- ・インフレ鈍化による米国金融緩和政策の再開
- ・中東情勢、ウクライナ紛争の緊迫化
- ・日米金利差に着目した為替市場のドル高

下落要因

- ・米国のインフレ高止まりによる米国金融政策の利下げペース鈍化
- ・中東情勢、ウクライナ紛争の緊張緩和
- ・日銀の利上げに伴う為替市場の円高

○投資環境

<ドル建て金相場>

当期のドル建て金相場（ロンドン）は大幅に上昇し、2025年5月には史上最高値となる1オンス3,431ドル付近をつけました。期初は2,300ドル付近で始まり、米国の景気指標がまちまちとなる中、ほぼ横ばい推移となりましたが、2024年7月の米消費者物価指数（CPI）が想定以上に弱く、米国金利が低下すると金相場は上昇しました。8月には雇用統計が市場予想を大きく下回り、景気後退リスクが意識され始め、世界的な株価の下落局面を経て、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が大幅利下げを示唆したことから金利は急低下、そして、9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）での金融緩和策により、長期金利は3.6%近辺まで低下し、金相場は上昇基調を強めました。その後もイスラエルとイランの対立で中東情勢が緊迫化し、金相場は堅調に推移しました。ただ、11月上旬、トランプ氏の勝利が確定的になると金利が上昇し、ドル買いとなり金相場は反落しました。2025年1月に入ると、中国人民銀行が金準備の積み増しを行ったと発表したことで大きく上昇に転じ、2月には米国トランプ大統領による中国への関税引き上げによる貿易戦争への警戒感から金相場は上昇基調となりました。4月のトランプ大統領による相互関税発表直後は、インフレ警戒感から一時的に下落しましたが、トランプ大統領が緊張緩和の姿勢を示したことから切り返し、4月後半には金価格は3,400ドルを超えました。その後はやや利食い売りに押されましたが、中東情勢、ウクライナ紛争といった地政学リスクの高まりを受け、金価格は高値圏での推移が続き、3,320ドル近辺で当期を終えました。

<外国為替市場>

当期、米ドル／円相場は期を通じて、円高水準となりました。期初から157円近い円安水準で始まりましたが、2024年7月月初に160円を明確に超えると、政府・日銀は為替介入を実施し、円高傾向に転じました。8月には米国の雇用統計が予想以上に悪化したことで、景気後退リスクが意識され始め、世界的な株価の下落局面を経て、パウエルFRB議長が大幅利下げを示唆したことから金利は急低下し、円高局面となりました。9月中旬には140円を割り込む水準まで円高が進みました。ただ、10月以降は堅調な米国の経済指標から追加の大幅な利下げ観測が後退する中で、米長期金利が上昇に転じる一方、日本の長期金利は日銀の慎重姿勢もあり緩やかな上昇にとどまったことで、再び日米金利差に着目したドル買いが優勢となりました。11月上旬の米大統領選挙でトランプ氏が勝利するとドル買いが強まり、2025年1月には158円台を付けました。その後、トランプ政権の関税政策による景気減速懸念が意識され、長期金利は低下に転じたことと、日銀が金利を引き上げたことから、やや円高傾向となりました。4月初旬にトランプ米大統領が相互関税を発表すると、リスクオフの動きが強まり、140円前後まで円高が進みました。市場の混乱を受け、トランプ大統領が一部関税の延期を発表するなど緩和的な姿勢を示すと、ドルが買い戻され、145円前後で期を終えました。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

主要投資対象であるSBI・iシェアーズ・ゴールド・マザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<SBI・iシェアーズ・ゴールド・マザーファンド>

信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・アドバイザーズ (UK) リミテッドが運用を行う「iシェアーズ・フィジカル・ゴールドETC」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.7%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、主としてETFまたはETC（上場投資信託証券）に投資し、円換算ベースの金現物価格の値動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第2期
	2024年6月11日～ 2025年6月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,381

(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、ファンドの基本方針に則り、『SBI・iシェアーズ・ゴールド・マザーファンド』受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行います。

<SBI・iシェアーズ・ゴールド・マザーファンド>

引き続き、主としてETFまたはETC(上場投資信託証券)に投資し、円換算ベースの金現物価格の値動きと概ね同等の投資成果をめざします。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 6 月11日～2025年 6 月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	10 (4) (4) (2)	0.064 (0.024) (0.024) (0.015)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷)	2 (1) (0) (0)	0.014 (0.010) (0.002) (0.002)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	12	0.078	
期中の平均基準価額は、15,048円です。			

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

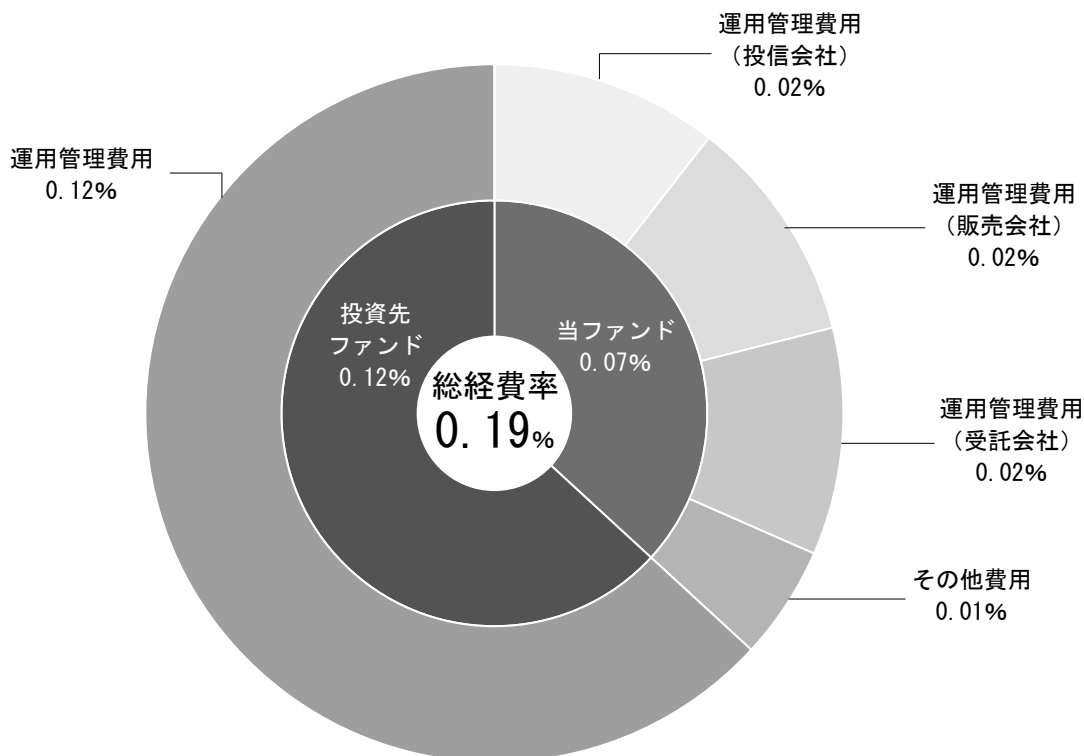
(注4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.19%**です。



総経費率 (①+②)	0.19%
①当ファンドの費用の比率	0.07%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.12%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年6月11日～2025年6月10日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
SBI・iシェアーズ・ゴールド・マザーファンド	千口	千円	千口	千円
	45,434,368	70,766,420	15,022,509	23,346,880

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月11日～2025年6月10日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年6月10日現在)

親投資信託残高

銘柄名	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
SBI・iシェアーズ・ゴールド・マザーファンド	千口	千口	千円
	8,875,647	39,287,506	68,399,548

(注) 単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年6月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
SBI・iシェアーズ・ゴールド・マザーファンド	68,399,548	99.9
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	83,130	0.1
投 資 信 託 財 産 総 額	68,482,678	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) SBI・iシェアーズ・ゴールド・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(80,017,266千円)の投資信託財産総額(82,327,802千円)に対する比率は97.2%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、6月10日における円換算レートは、1ドル=144.71円、1ユーロ=165.30円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月10日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	68,482,678,321円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	19,599
SBI・iシェアーズ・ゴールド・マザーファンド(評価額)	68,399,548,722
未 収 入 金	83,110,000
(B)負 債	98,448,025
未 払 解 約 金	83,100,453
未 払 信 託 報 酬	14,827,151
そ の 他 未 払 費 用	520,421
(C)純 資 産 総 額(A-B)	68,384,230,296
元 本	39,342,532,850
次 期 繰 越 損 益 金	29,041,697,446
(D)受 益 権 総 口 数	39,342,532,850口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,382円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>

(貸借対照表関係)

期首元本額 8,882,419,312円
期中追加設定元本額 45,502,659,113円
期中一部解約元本額 15,042,545,575円

○損益の状況 (2024年6月11日~2025年6月10日)

項 目	当 期
(A)有 価 証 券 売 買 損 益	7,549,087,847円
売 買 益	9,177,115,401
売 買 損	△ 1,628,027,554
(B)信 託 報 酬 等	△ 21,586,151
(C)当 期 損 益 金(A+B)	7,527,501,696
(D)前 期 繰 越 損 益 金	369,409,138
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	21,144,786,612
(配 当 等 相 当 額)	(3,112,133,256)
(売 買 損 益 相 当 額)	(18,032,653,356)
(F)計(C+D+E)	29,041,697,446
(G)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	29,041,697,446
追 加 信 託 差 損 益 金	21,144,786,612
(配 当 等 相 当 額)	(3,112,440,797)
(売 買 損 益 相 当 額)	(18,032,345,815)
分 配 準 備 積 立 金	7,896,910,834

(注1) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(1,858,567円)、費用控除後の有価証券等損益額(7,525,633,424円)、信託約款に規定する収益調整金(21,144,786,612円)および分配準備積立金(369,418,843円)より分配対象収益は29,041,697,446円(10,000口当たり7,381円)ですが、当期に分配した金額はありません。

○お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更適用日：2025年4月1日)

<当該約款変更につきまして>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

第2期 運用報告書

(決算日：2025年6月10日)

SBI・iシェアーズ・ゴールド・マザーファンド

受益者のみなさまへ

SBI・iシェアーズ・ゴールド・マザーファンドの第2期（2024年6月11日から2025年6月10日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは、次の通りです。

運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	ETFまたはETC（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。 デリバティブの利用は価格変動リスクおよび為替変動リスクを回避する目的ならびに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的以外には利用しません。 外国為替予約取引は、為替変動リスクを回避する目的以外には利用しません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		投資信託証券 組入比率	純資産 総額
		期中 騰落率		
(設定日)	円	%	%	百万円
2023年6月8日	10,000	—	—	168
1期(2024年6月10日)	13,150	31.5	99.5	13,409
2期(2025年6月10日)	17,410	32.4	99.7	81,045

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。

(注3) 当ファンドは、主としてETFまたはETC（上場投資信託証券）に投資し、円換算ベースの金現物価格の値動きと概ね同等の投資成果を目指して運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
		騰落率	
(期首)	円	%	%
2024年6月10日	13,150	—	99.5
6月末	13,595	3.4	99.0
7月末	13,206	0.4	99.0
8月末	13,240	0.7	99.2
9月末	13,730	4.4	99.5
10月末	15,496	17.8	99.7
11月末	14,424	9.7	98.8
12月末	14,989	14.0	100.0
2025年1月末	15,609	18.7	99.3
2月末	15,559	18.3	99.4
3月末	16,671	26.8	99.2
4月末	17,060	29.7	98.6
5月末	17,241	31.1	98.8
(期末)			
2025年6月10日	17,410	32.4	99.7

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、主としてETFまたはETC（上場投資信託証券）に投資し、円換算ベースの金現物価格の値動きと概ね同等の投資成果を目指して運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2024年6月11日から2025年6月10日まで）

○基準価額等の推移



当マザーファンドの基準価額は期首13,150円から始まったあと、期末には17,410円となりました。期を通じて騰落率は+32.4%となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2024/6/10	2025/5/12	2024/8/6	2025/6/10
基準価額 (円)	13,150	17,619	12,664	17,410

○投資環境

<ドル建て金相場>

当期のドル建て金相場（ロンドン）は大幅に上昇し、2025年5月には史上最高値となる1オンス3,431ドル付近をつけました。期初は2,300ドル付近で始まり、米国の景気指標がまちまちとなる中、ほぼ横ばい推移となりましたが、2024年7月の米消費者物価指数（CPI）が想定以上に弱く、米国金利が低下すると金相場は上昇しました。8月には雇用統計が市場予想を大きく下回り、景気後退リスクが意識され始め、世界的な株価の下落局面を経て、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長が大幅利下げを示唆したことから金利は急低下、そして、9月の米連邦公開市場委員会（FOMC）での金融緩和策により、長期金利は3.6%近辺まで低下し、金相場は上昇基調を強めました。その後もイスラエルとイランの対立で中東情勢が緊迫化し、金相場は堅調に推移しました。ただ、11月上旬、トランプ氏の勝利が確定的になると金利が上昇し、ドル買いとなり金相場は反落しました。2025年1月に入ると、中国人民銀行が金準備の積み増しを行ったと発表したことで大きく上昇に転じ、2月には米国トランプ大統領による中国への関税引き上げによる貿易戦争への警戒感から金相場は上昇基調となりました。4月のトランプ大統領による相互関税発表直後は、インフレ警戒感から一時的に下落しましたが、トランプ大統領が緊張緩和の姿勢を示したことから切り返し、4月後半には金価格は3,400ドルを超えました。その後はやや利食い売りに押されましたが、中東情勢、ウクライナ紛争といった地政学リスクの高まりを受け、金価格は高値圏での推移が続き、3,320ドル近辺で当期を終えました。

○当ファンドのポートフォリオ

信託財産の中長期的な成長をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・アドバイザーズ (UK) リミテッドが運用を行う「iシェアーズ・フィジカル・ゴールドETC」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は99.7%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主としてETFまたはETC（上場投資信託証券）に投資し、円換算ベースの金現物価格の値動きと概ね同等の投資成果をめざして運用を行うため、ベンチマークはありません。また適当な参考指数もないことから、参考指数等も記載していません。

○今後の運用方針

引き続き、主としてETFまたはETC（上場投資信託証券）に投資し、円ヘッジベースの金現物価格の値動きと概ね同等の投資成果をめざします。

○1万口当たりの費用明細

(2024年6月11日～2025年6月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	円 —	% —	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税	—	—	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.010 (0.010)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	1	0.010	
期中の平均基準価額は、15,068円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2024年6月11日～2025年6月10日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
外国	アメリカ	口	千ドル	口	千ドル
	ISHARES PHYSICAL GOLD ETC	7,290,259	407,113	548,006	33,060

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年6月11日～2025年6月10日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年6月10日現在)

外国投資信託証券

銘柄名	期首(前期末)	当 期 末			比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外貨建金額	円換算金額		
(アメリカ)	口	口	千ドル	千円	%	
ISHARES PHYSICAL GOLD ETC	1,893,483	8,635,736	558,624	80,838,504	99.7	
合 計	口数・金額	1,893,483	8,635,736	558,624	80,838,504	99.7
	銘柄数<比率>	1	1	—	<99.7%>	

(注1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年6月10日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 80,838,504	% 98.2
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,489,298	1.8
投 資 信 託 財 産 総 額	82,327,802	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産(80,017,266千円)の投資信託財産総額(82,327,802千円)に対する比率は97.2%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、6月10日における円換算レートは、1ドル=144.71円、1ユーロ=165.30円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年6月10日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	83,149,373,039円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,489,287,089
投資信託受益証券 (評価額)	80,838,504,002
未 収 入 金	821,570,828
未 収 利 息	11,120
(B)負 債	2,103,766,232
未 払 金	1,972,376,232
未 払 解 約 金	131,390,000
(C)純 資 産 総 額 (A - B)	81,045,606,807
元 本	46,551,707,679
次 期 繰 越 損 益 金	34,493,899,128
(D)受 益 権 総 口 数	46,551,707,679口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	17,410円

<注記事項 (運用報告書作成時には監査未了) >
(貸借対照表関係)

期首元本額	10,197,448,183円
期中追加設定元本額	60,524,973,678円
期中一部解約元本額	24,170,714,182円
期末における元本の内訳	
S B I ・ i シェアーズ・ゴールドファンド (為替ヘッジなし)	39,287,506,446円
S B I ・ i シェアーズ・ゴールドファンド (為替ヘッジあり)	7,264,201,233円

○損益の状況 (2024年6月11日～2025年6月10日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	2,235,683円
受 取 利 息	2,074,419
そ の 他 収 益 金	162,020
支 払 利 息	△ 756
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	11,330,731,365
売 買 益	14,429,060,823
売 買 損	△ 3,098,329,458
(C)そ の 他 費 用	△ 3,740,128
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	11,329,226,920
(E)前 期 繰 越 損 益 金	3,212,231,704
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	33,519,116,322
(G)解 約 差 損 益 金	△13,566,675,818
(H) 計 (D + E + F + G)	34,493,899,128
次 期 繰 越 損 益 金 (H)	34,493,899,128

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<ご参考>組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ・フィジカル・ ゴールド ETC	金	LBMA 金価格指数	0.12%	ブラックロック・ アドバイザーズ (UK) リミテッド

出所：ブラックロック・アドバイザーズ (UK) リミテッドの資料を基に SBI アセットマネジメントが作成
(注) 2025年5月31日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第2期期末時点で取得可能なデータを記載しており、将来変更される場合があります。